

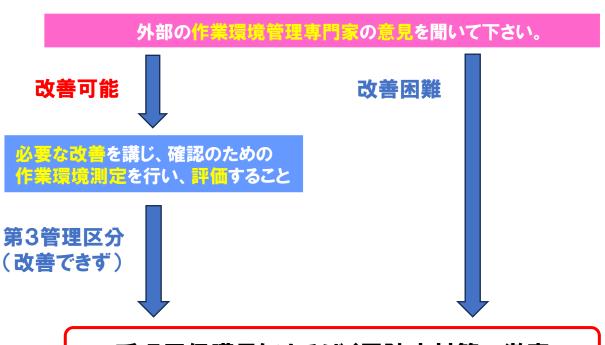
No.166 2025年 4月 16日発行

1. 作業環境測定の結果、 第3管理区分の作業場はありませんか

令和6年(2024年)4月1日より作業環境の改善が困難な作業場において 引き続き作業を行う場合、呼吸用保護具の使用が必要となりました。



対象は第3管理区分評価後に改善措置した結果、 再度第3管理区分と評価された作業場所です。



呼吸用保護具によるばく露防止対策の徹底

☆告示パンフレット(厚生労働省)

041130kokujipamphlet.pdf



2. 呼吸用保護具によるばく露防止対策の流れ

有機溶剤等の濃度の測定







Point 原則、測定は個人サンプリング法 ① または個人ばく露測定による

個人サンプリング法

労働者の身体に装着する試料採取機器等 を用いて行う作業環境測定(C・D測定ともいう。)

個人ばく露測定法

労働者の身体に装着する試料採取機器等を用いて 行う方法により、労働者個人のばく露 (労働者の呼吸域の濃度)を測定すること

測定結果に応じた有効な呼吸用保護具の選択、着用





フィットテストの実施







Point
(2)

面体を有する場合に限ります。

6ヶ月以内ごとに1回、定期的に有機溶剤等の濃度の測定







1年以内ごとに1回フィットテストの実施

弊社では「作業環境測定士」が作業環境測定・個人サンプリング測定・個人ばく露測定、

「作業環境管理専門家」が環境改善のアドバイス、「マスクフィットテスト実施者」がフィットテストを行っています。 法令の相談から、測定、換気装置設置の相談まで、お気軽に ご連絡ください。

※イラストは厚生労働省パンフレット参照

〒416-0906 静岡県富士市本市場422の1 TEL 0545-61-8402 FAX 0545-63-9654 E-mail info@rikka.co.jp

URL https://rikka.co.jp



